

第4部門 「旅のもてなしプロデューサー」 (平成20年3月発行)



「心編」 A5 126ページ

第1章 「旅のもてなしプロデューサー」とは

1. 「旅のもてなしプロデューサー」の意義と役割
2. 「旅のもてなしプロデューサー」と必要とする背景

第2章 「旅のもてなしプロデューサー」を学ぶ—生涯学習の視点から—

1. 生涯学習の考え方
2. 生涯学習社会づくりと「旅のもてなしプロデューサー」
3. 生涯学習まちづくりと「旅のもてなしプロデューサー」

第3章 旅のプロデュースは「まち(地域)づくり」から

1. 市民が主役のまちづくり
2. 市民の学習とまちづくり研究会
3. 市民の学習組織と交流の方法

第4章 地域まるごと博物館—エコミュージアム—

1. エコミュージアムとは
2. エコミュージアムの構造
3. 観光とエコミュージアム
4. たてやま・地域まるごと博物館 池田恵美子 (NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム事務局長)

第5章 「もてなし」の心と行動—行動とパーソナリティー—

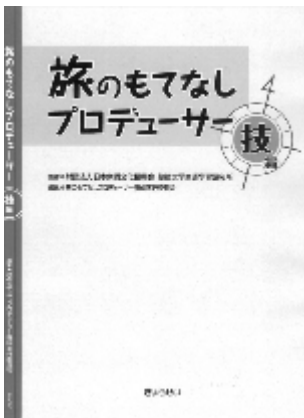
1. 「もてなし」とは
2. もてなしの心を表す行動
3. もてなしの心を表す行動とパーソナリティー

第6章 旅を癒す「もてなしの心」

1. 「もてなしの心」を地域で創る
2. 旅人を癒す「もてなしの心」
3. 「旅のもてなしプロデューサー」に求められる「もてなしの心と技」
4. 私の旅ともてなし 岡田隆史 (㈱ティアンドケイ代表取締役, 「ラモヴェール」シェフ)

第7章 「旅のもてなしプロデューサー」の源流を探る

1. 人は旅(人)によって人になる
2. 先人に見る「旅の心」
3. 「旅のもてなしプロデューサー」の心
4. まとめ



「技編」 A5 150ページ

第1章 地域資源の活用

1. 観光と自然環境の保護・保全
2. 地域資源発見の方法
3. 地域資源活用の方法

第2章 観光に関連する諸事業

1. 観光のための教育
2. まちづくりボランティアの役割
3. 観光人材の育成方法
4. 地域イベントの活用
5. 観光ルネサンスと地域ブランド

第3章 地域ツーリズムと担い手の育成

1. 「旅」のスタイルの変遷
2. 旅のもてなしプロデューサーの役割
3. 地域ブランドづくり

第4章 おもてなしの心による「旅」の演出

1. おもてなしの心による「旅」の演出 嶋田昌子 (NPO法人横浜シティガイド協会副会長)
2. NPO萩観光ガイド協会について 児玉明 (NPO萩観光ガイド協会理事長)
3. 南房総の旅プランナー奮闘記 浅井信 (元館山市観光プロデューサー)
4. 無名の地「藤野町」旅行商品デビュー奮闘記 長沢克巳
5. バスガイド奮闘記—もてなしの心による「旅の演出」 伊勢久子
6. 添乗員体験記

第4部門 「旅のもてなしプロデューサー」 (平成20年3月発行)



『体編』 A5 102ページ

第1章 観光の現代的意義と観光まちづくり

1. 観光の現代的意義
2. 観光旅行の大衆化から「観光立国宣言」までの歩み
3. 観光立国推進基本法の成立
4. 観光がもたらす多面的効果
5. 観光資源と地域の様々な観光対象化の取組み
6. 観光と地域社会
7. 観光まちづくりのマーケティング
8. 観光行政の課題と役割

第2章 観光政策と地域政策

1. 観光政策と観光の諸制度
2. 地域政策と観光事業
3. 景観法と条例にみるまちづくり

第3章 文化・社会教育施設と団体

1. 文化・社会教育施設の観光拠点としての活用
2. 観光を支える文化・社会教育団体

第4章 行政組織と観光プロデューサーとの連携

1. 旅の目的化、個人化が進む
2. 観光プロデューサー

第5章 行政組織に求められる今後の課題

1. 観光産業の可能性
2. 観光産業の抱える課題

第6章 観光まちづくり事例

1. 「旅のもてなし」地域の心ばかり

山内庸子 (霧島市教育委員会準人出張所生涯学習課係長)

2. トヨタ白川郷自然学校のおもてなしの心とプログラム

後安良彦 (トヨタ白川郷自然学校事務局)